

在宅医療・介護に関するアンケート調査

医療福祉連携推進課

1 調査目的

今後の在宅医療・介護施策推進の参考にするため、県民の皆さんの在宅医療・介護についての率直なご意見やご感想を伺いました。

2 調査対象など

調査対象: 県政モニター679人(うちインターネットモニター387人)

調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 平成28年7月13日～8月5日

回収結果: 588人(回収率86.6%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

○希望する療養場所について

死期が迫っている場合に療養する場所について「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院」「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院」「最後まで自宅で療養」を合わせて60.6%と在宅療養を希望する割合が高かった。

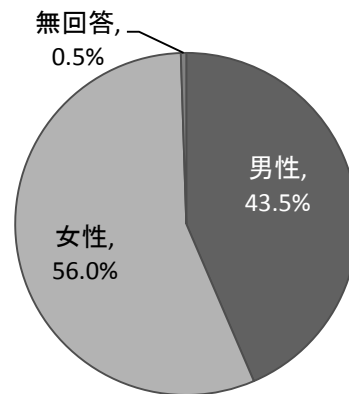
○自宅での療養について

死期が迫っている場合に最期まで自宅で療養することについて、「困難である」が56.6%と最も高く、そのうちの94.0%が「介護する家族に負担がかかる」をその理由としている。また、「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安」を困難な理由とした割合が68.5%と「介護する家族に負担がかかる」に次いで高かった。

4 回答者属性

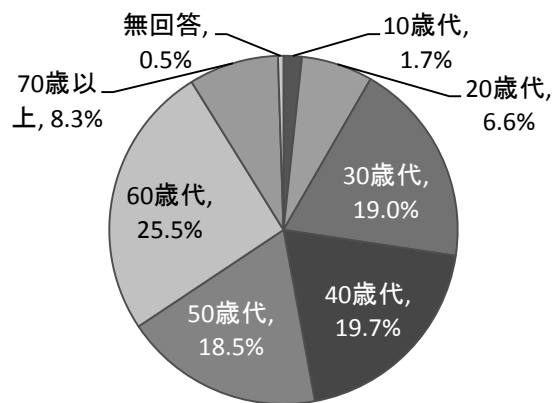
(1) 性別

	人数	割合
男性	256	43.5%
女性	329	56.0%
無回答	3	0.5%
計	588	100.0%



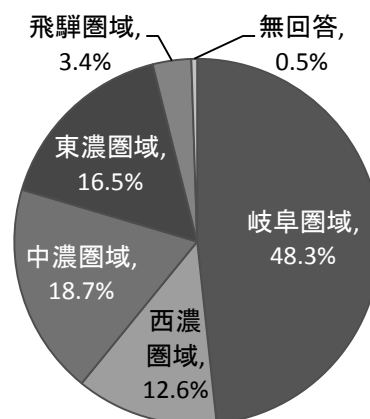
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	10	1.7%
20歳代	39	6.6%
30歳代	112	19.0%
40歳代	116	19.7%
50歳代	109	18.5%
60歳代	150	25.5%
70歳以上	49	8.3%
無回答	3	0.5%
計	588	100.0%



(3) 居住圏域別

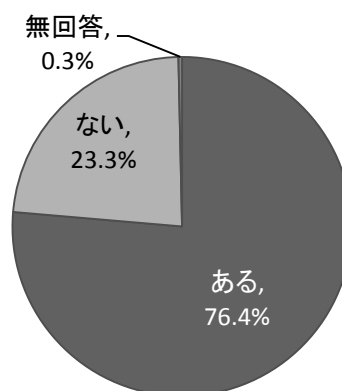
	人数	割合
岐阜圏域	284	48.3%
西濃圏域	74	12.6%
中濃圏域	110	18.7%
東濃圏域	97	16.5%
飛騨圏域	20	3.4%
無回答	3	0.5%
計	588	100.0%



5 調査結果

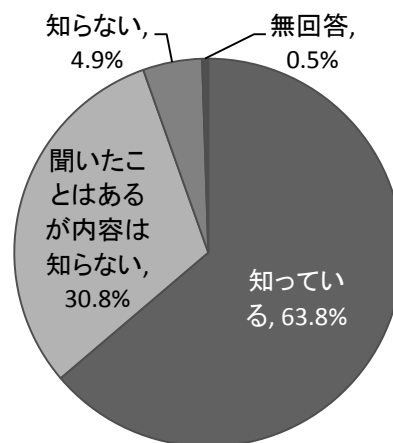
問1 あなたは家の近くに安心してかかれる医療機関(かかりつけ医)がありますか。

	人数	割合
ある	449	76.4%
ない	137	23.3%
無回答	2	0.3%
計	588	100.0%



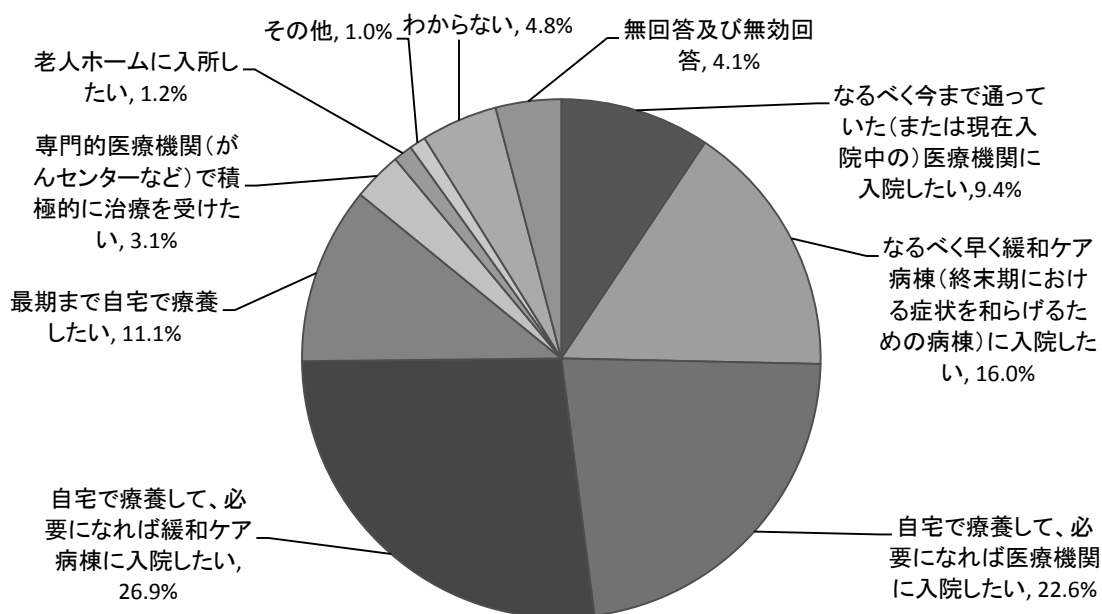
問2 あなたは「在宅医療」について知っていますか。

	人数	割合
知っている	375	63.8%
聞いたことはあるが内容は知らない	181	30.8%
知らない	29	4.9%
無回答	3	0.5%
計	588	100.0%



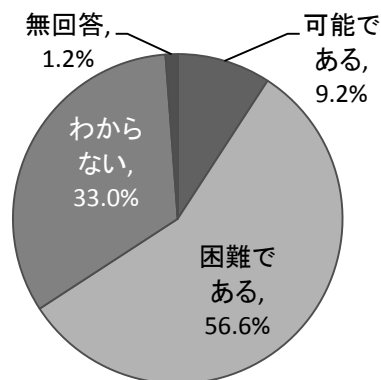
問3 あなたが仮に病気等で治る見込みがなくなり死期が迫っている（6カ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、療養の場所はどこを希望されますか。（次の中から1つ選択）

	回答数	割合
なるべく今まで通っていた(または現在入院中の)医療機関に入院したい	55	9.4%
なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげるための病棟)に入院し	94	16.0%
自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい	133	22.6%
自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい	158	26.9%
最期まで自宅で療養したい	65	11.1%
専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい	18	3.1%
老人ホームに入所したい	7	1.2%
その他	6	1.0%
わからない	28	4.8%
無回答及び無効回答	24	4.1%
計	588	100.0%



問4 あなたは最期まで自宅での療養ができていますか。

	人数	割合
可能である	54	9.2%
困難である	333	56.6%
わからない	194	33.0%
無回答	7	1.2%
計	588	100.0%

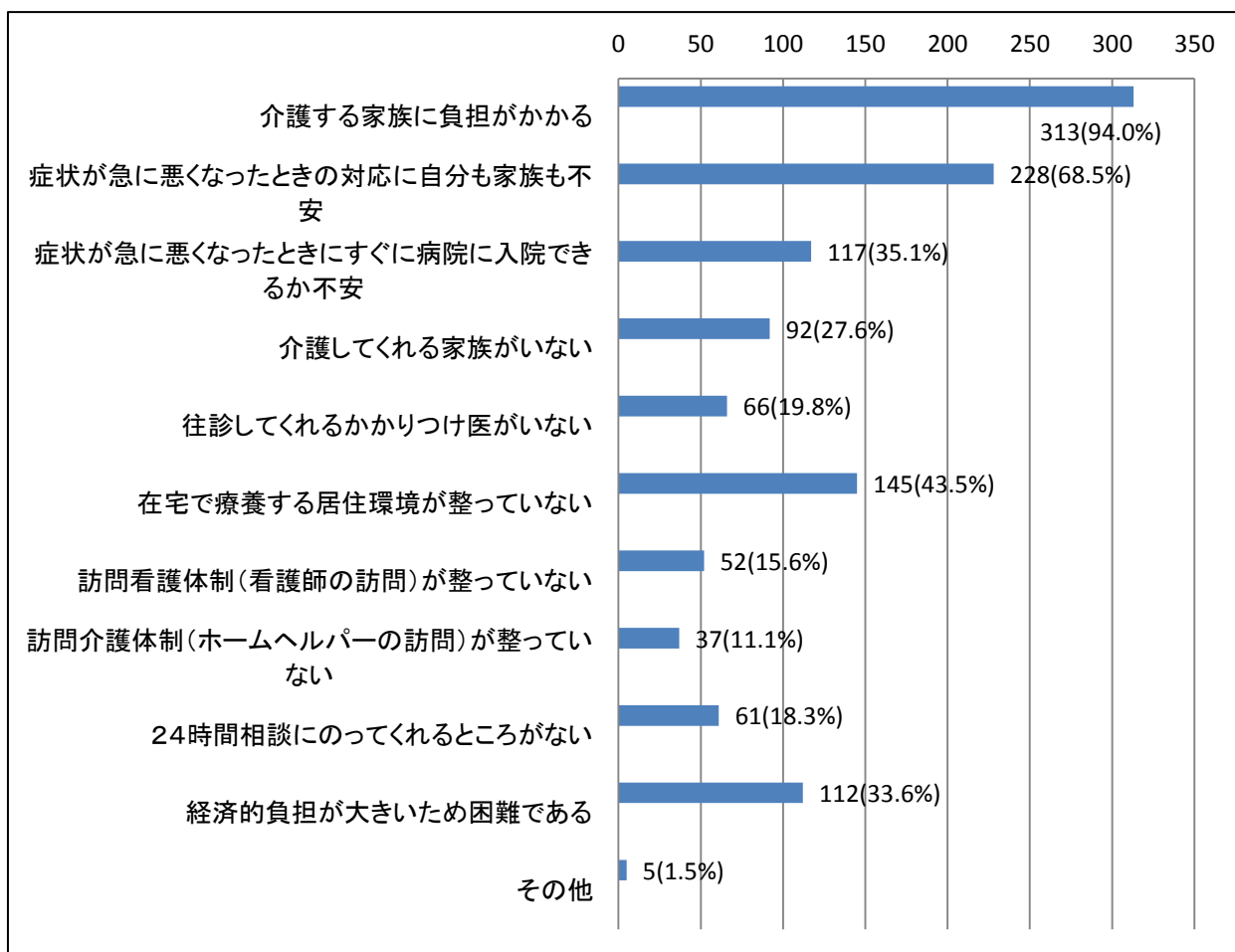


問5 (問4で「困難である」と答えた方)

困難であると思う理由を次の中からすべて選んでください。(複数回答)

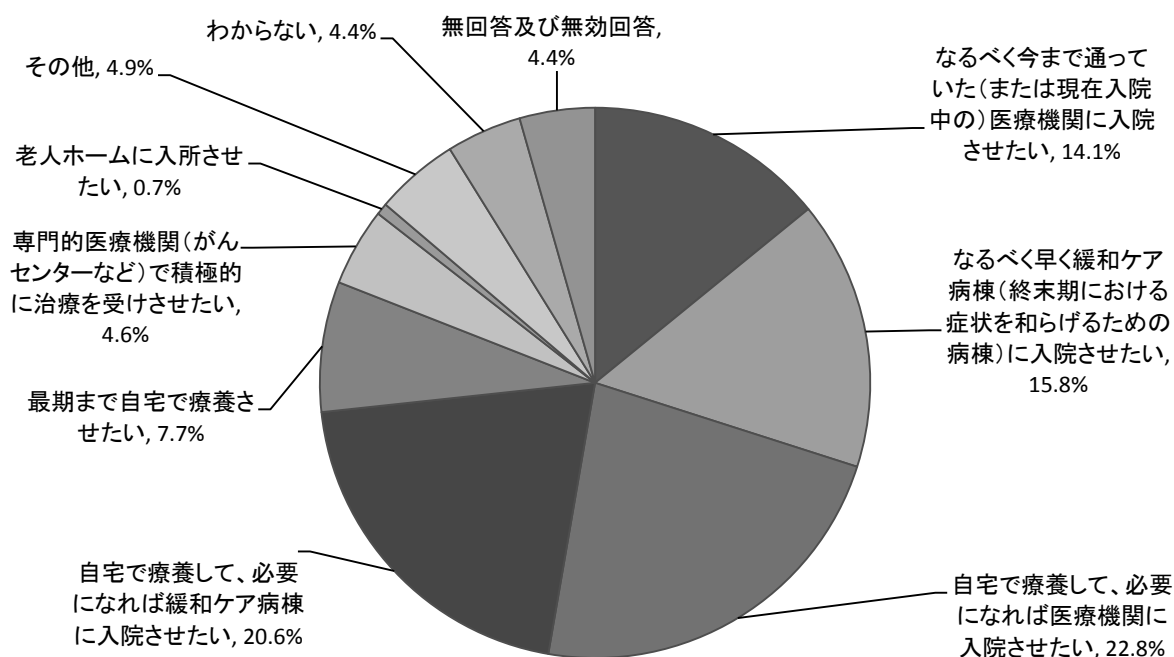
回答者 333 人

	回答数	割合
介護する家族に負担がかかる	313	94.0%
症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安	228	68.5%
症状が急に悪くなったときにすぐに病院に入院できるか不安	117	35.1%
介護してくれる家族がない	92	27.6%
往診してくれるかかりつけ医がない	66	19.8%
在宅で療養する居住環境が整っていない	145	43.5%
訪問看護体制(看護師の訪問)が整っていない	52	15.6%
訪問介護体制(ホームヘルパーの訪問)が整っていない	37	11.1%
24時間相談にのってくれるところがない	61	18.3%
経済的負担が大きいため困難である	112	33.6%
その他	5	1.5%
計	1228	—



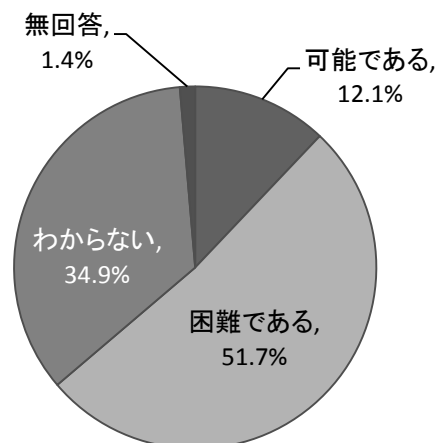
問6 あなたは自分の家族が仮に病気等で治る見込みがなくなり死期が迫っている（6カ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、どこで療養することを薦めますか。（次の中から1つ選択）

	回答数	割合
なるべく今まで通っていた(または現在入院中の)医療機関に入院させたい	83	14.1%
なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげるための病棟)に入院させたい	93	15.8%
自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院させたい	134	22.8%
自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院させたい	121	20.6%
最期まで自宅で療養させたい	45	7.7%
専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けさせたい	27	4.6%
老人ホームに入所させたい	4	0.7%
その他	29	4.9%
わからない	26	4.4%
無回答及び無効回答	26	4.4%
計	588	100.0%



問7 あなたは自分の家族が最期まで自宅での療養が出来ますか。

	人数	割合
可能である	71	12.1%
困難である	304	51.7%
わからない	205	34.9%
無回答	8	1.4%
計	588	100.0%

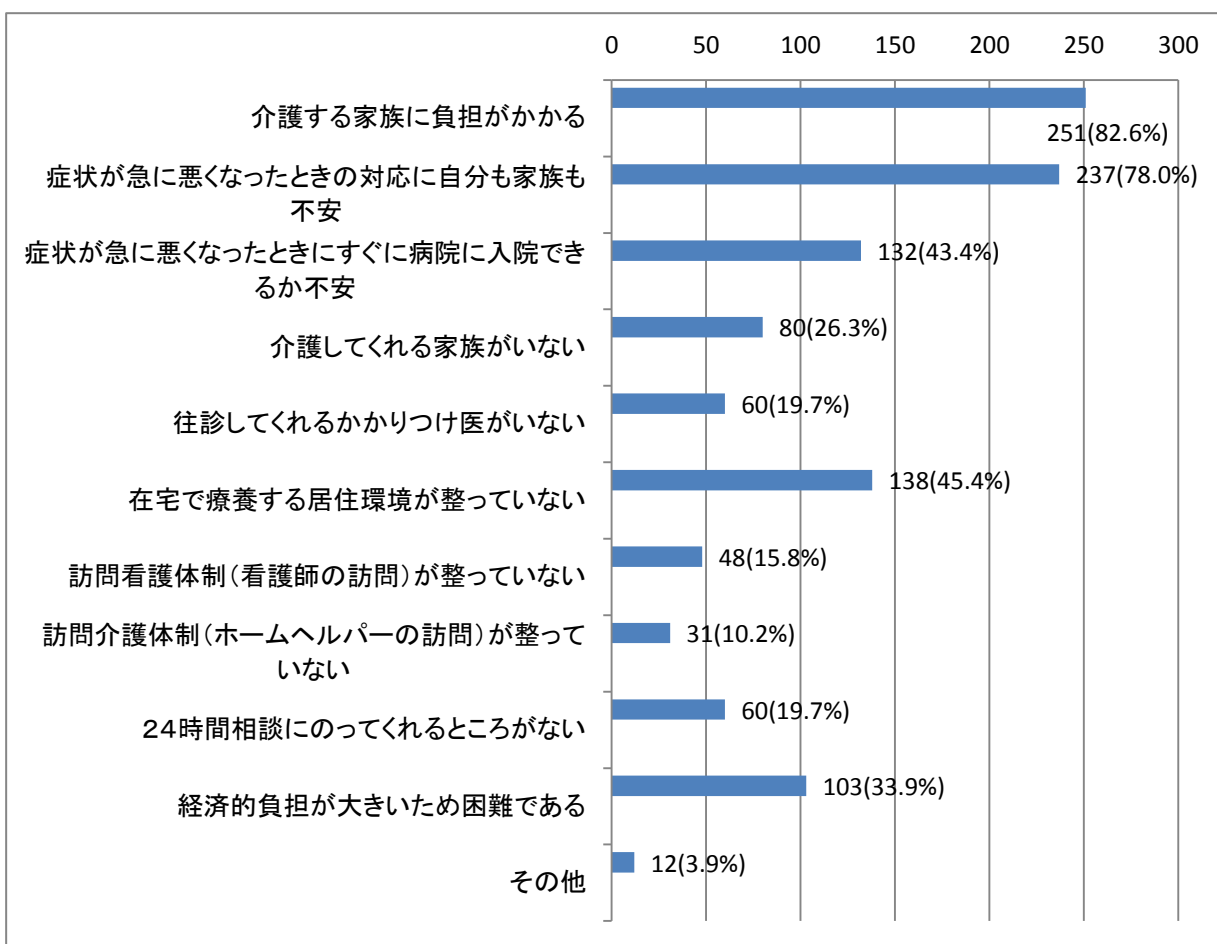


問8 (問7で「困難である」と答えた方)

困難であると思う理由を次の中からすべて選んでください。(複数回答)

回答者 304 人

	回答数	割合
介護する家族に負担がかかる	251	82.6%
症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安	237	78.0%
症状が急に悪くなったときにすぐに病院に入院できるか不安	132	43.4%
介護してくれる家族がいない	80	26.3%
往診してくれるかかりつけ医がいない	60	19.7%
在宅で療養する居住環境が整っていない	138	45.4%
訪問看護体制(看護師の訪問)が整っていない	48	15.8%
訪問介護体制(ホームヘルパーの訪問)が整っていない	31	10.2%
24時間相談にのってくれるところがない	60	19.7%
経済的負担が大きいため困難である	103	33.9%
その他	12	3.9%
計	1152	—



問9 在宅医療または介護について御意見・ご要望・ご感想などがございましたら、お聞かせください。(主な意見)

○在宅医療・介護の体制整備

- ・訪問診療（往診）をする医療機関が減少していると感じている。
- ・必要な時にすぐに対応してくれる医療機関があるのか不安。
- ・へき地は医療機関も少なく、在宅医療、介護は不可能でないか。
- ・24時間の介護体制が必要。
- ・土曜日、日曜日に対応してくれる訪問看護ステーションが少ない。
- ・訪問介護、訪問看護サービスの提供時間を弾力的にしてほしい。
- ・在宅医療介護には限界があり、それを補完する介護施設の整備が必要。

○人材の確保

- ・医師、看護師、介護職員の育成が必要。
- ・介護職員に対する社会的理解の促進や賃金の向上が必要。

○相談体制

- ・介護する側もされる側も安心、気軽に相談できる環境整備が必要。
- ・経済的に負担が大きい場合、軽減措置等の相談窓口をもっと周知してほしい。
- ・家族の不安、住環境整備等の相談体制が不十分。
- ・相談窓口の地域包括支援センターの周知が不足しているのではないか。

○施設の整備

- ・緩和ケア病棟の整備をしてほしい。
- ・特別養護老人ホームは3、4年の入所待ちという話しも聞く。施設介護が必要なときにすぐに施設に入れるように施設を増やしてほしい。

○支援、補助の充実

- ・在宅医療、介護のための公的補助を充実させてほしい。
- ・住宅のバリアフリー化などの改修費用への助成が必要。

○普及啓発

- ・在宅医療制度がよく分からないので広報紙などで説明してほしい。
- ・在宅医療、介護のメリット、デメリットや家族支援の情報がほしい。
- ・訪問介護や訪問看護などのサービスをわかりやすく説明した資料を年に一度、各戸へ配布してほしい。
- ・在宅医療、介護に要する費用について知りたい。
- ・小学校などでも在宅医療・介護についての教育が必要

○在宅医療・介護を取り巻く社会的環境

- ・核家族化により在宅医療・介護は家族の負担感が大きい。
- ・老老介護は一人では無理がある。
- ・介護する側は働いており、在宅医療、介護は理想であるが、難しいのではないか。
- ・訪問介護だけでは不十分で家族の介護が必要であるが、そのために離職はできない。
- ・介護休暇の充実を希望します。

○その他

- ・完全に治りきれていないのに病院から退院させられるのは不安。
- ・通院する交通手段がない。行政が運営するバスも予約がなかなか取れない。